

# 新王者・佐久間誕生!

## だが……

### 前田、三井は国際戦にKO勝ち

日時・1997年4月29日 場所・後楽園ホール  
主催・全日本キックボクシング連盟

#### 《○佐久間晋哉VS杉木広臣》

黄金のベルトを巻いた佐久間は、なぜか浮かない顔だった。

ただ一人で黙々と通路を下りてくるという印象に残る登場の仕方をした佐久間は2R、早くもチャンスを迎える。互いにサウスポー、ガードの悪い杉木をワンツー、左ハイでロープまでふっ飛ばす。パンチとミドルを効かせ、杉木がそれでも前に出てくる瞬間、右ストリートヒット、ダウンさせた。

まだ回半ばである。佐久間は左ミドルから



スレマニのパンチを左腕は立て、右前手をクロスさせたガードでよける前田。

「反省?……全部です。前回戦った立場が高めたベルトの値に、佐久間は追い付かぬばならない。



ライト級トーナメント。金沢(右)が舞臺の新鋭選手を3R、バックハンド、右ハイを効かせてKO。8月は須藤と三井決定戦だ。



2Rダウンを喰い、KOはあと一歩であった。その後の杉木のタフネスも脅威だった。

一気呵成にパンチを浴びせ、右ストレートで2度目のダウン。歓声が高まる中、佐久間のハイとストレートのラッシュが続いた。が、杉木はクリンチもせず、逃げもせず、じっと受けて立っている。2Rを耐えぬいた。

「これで勝てる、チャンスが来たら仕掛けられたい」と思ったという佐久間は、その後あえて倒しに行かなくなった。

異様にタフな杉木はパンチを受けても受けても前進し続け、下がる相手に左ロー、右の内股ローを蹴り続けた。ローのダメージも徐々に表れ、佐久間のパンチが雑になっていった。結果は佐久間が判定大差で王座に着いた。

しかし、「もうこういう試合はしたくない。ベルトは今の俺では持っても価値がない」、前回立嶋篤史戦のように、「倒せないツメの甘さ」を自他共に認めさせられる。

#### 《○前田憲作VS S・スレマニ》

1月復帰戦以来、前田は大きく化けつつある。この日、二つ目のハードルもクリアした。

18戦無敗、若千19歳のスレマニはジャブからの連打、ハイに至る動きがさすがに速い。キレのいいアツバー・フックが前田を狙い撃ちするが、前田はガッチリと両手を縦横にクロスガードする。鉄壁の構えてことごとく跳ね返し、相手のステップに合わせて威圧する。2R、前田はローで相手を止め、左ミドルからの左ロー、積極的に攻めた。そして左ミドルを強烈に打ち、体勢の崩れた所で右ロー、一發置いてスレマニは倒れた。

完璧な防御は「須藤さんとの練習のおかげ」。積極的な練習への姿勢、さらに「もう落とせない」という必死さが快く生きた。

#### 《○三井綾VS S・グランシヤ》

リングに上がった三井の体は、一見して締まっていなかった。計算もオーバードしている。

その上、初回終了間際にグランシヤの右ハイ一撃で飛ばされ、危うく倒れかけた。手足の長い相手だけに速い距離で来た蹴りだ。不意打ちされる三井ではない苦だが……

それでもセコンドの指示に従い、サウスポー・左ミドルをガンガン出して出ていくと、次第に相手はおびえ始めた。3回半ばでグランシヤはコーナー際に自らへたり込み、カウントを取られる。後は三井の独壇場、押しながらのパンチのラッシュに相手が倒れ、最後は戦意喪失同然だった。が、調整不足も含め、三井は甘さを館長に厳しく叱咤された。



異階級マッチは、鈴木(右)も須藤も時にスリリングなパンチを交わし、緊迫感の中にドロ。



#### RESULT

■50回戦  
全日本フェザー級王座決定戦  
佐久間晋哉(1位・八王子FSG)判定3-0 杉木広臣(3位・杉並)  
日本・スイス国際戦  
前田憲作(WKA世界ムエタイスーパーフェザー級王者・AJE) KO2R1分36秒 スレマニ・スレマニ(スイスムエタイフェザー級王者・スイス)  
女子日本・フランス国際戦  
三井綾(WMTF世界女子J・パンタム級王者・不動館) KO3R2分25秒 サンドリン・グランシヤ(ISK A欧州女子54キログラム王者・フランス)  
特別試合146ポンド契約  
鈴木達也(全日本ウェルター級王者・稲毛道場)引き分け0-0 須藤信充(同ライト級1位・神武館) J50-503名  
全日本ライト級王座決定トーナメント準決勝  
金沢久幸(2位・富士魅) KO3R57秒橋本ケン(4位・谷山)

■30回戦(※はデビュー選手)  
ウェルター級・寺田光生(JK国際) KO1R2分58秒 関島康人(アクティブJ)  
ライト級・狩野 卓(上州松井) KO3R36秒 岩間 進(征徳会)  
フェザー級・遠藤慎介(不動館) 引き分け1-0 横山潔高(谷山) J30-302名、30-29  
ライト級・今野貴光(建武館) KO2R2分8秒 安田義明(習志野)  
ライト級・酒井秀信(レックスジャパン) KO3R1分28秒 前原孝博(鷹)\*  
フェザー級・半澤英俊(MAE) 引き分け1-0 大和孝良(徳)\* J30-302名、30-29